

「デジタルでつなぐ福祉と未来への架け橋」 段階的なアプローチによるキャリア教育プログラムのご提案

株式会社Blueberry
代表取締役CEO 柴田涼太郎





What's Blueberry?



Blueberryの事業と強み

キャリア教育とICTデジタルを掛け合わせたプログラムを小学校から大学・職業紹介事業まで幅広く展開

年代に合わせた
段階的なキャリア教育



ICT環境を活かした
デジタル教育プログラム

オンデマンドキャリア教育
「GIGAプログラム」

リアルタイムキャリア教育
「オンラインイベント」

課題解決能力向上プログラム

大学でのキャリア教育プログラム

小中学校

高校

大学



Blueberryの実績

Blueberryのプログラムは経済産業省キャリア教育アワードにて**最優秀賞・経済産業大臣賞**を受賞し、**渋谷区・葛飾区を含め日本全国で5万人以上の小中学生にプログラムを実施**



日本全国で5万人以上の小中学生にプログラム提供



キャリア教育アワードとは

産業界による優れた教育支援活動の取り組みとその効果を広く社会で共有し、こうした活動を奨励・普及・促進することを目的として実施されている経済産業省のアワード

最優秀賞受賞に至ったプログラムの評価ポイント

- GIGAスクールにキャリア教育の視点を組み入れ、児童生徒と社会・仕事との接点を作り、自ら考えることを促すプログラムは評価でき、自治体・教育委員会を巻き込む点も良く、汎用性・波及効果が期待できる
- 多様な職種の社会人講師とのオンラインでの出会いや、動画視聴により考えを深めるワークなど、ワクワク感を大切にしながらキャリア観が醸成されるプログラムとなっており「夢を持っていない」という子の変容にもつながっている



メディア掲載実績

教育新聞

ウィズコロナのキャリア教育 新たなやり方、これからの視点



新型コロナウイルスの感染拡大は、これまでの仕事のやり方を変える転機にもなった。職場体験学習をはじめ、さまざまな形で行われてきたキャリア教育も、オンラインの活用などにより新たな可能性が広がっている。ウィズコロナ時代をどう生きるか——。答えのない問いと向き合う子供たちをサポートすべく、企業などと連携しながら、新しいキャリア教育の在り方を模索する現場の取り組みを追った。

憧れの職業に就いた人とつながる

制服に身を包んだパイロットや医者、サッカー選手、アナウンサー……。小中学生にとって憧れの職業に就く人たちが、オンライン上の画面にズラリと並ぶ。

キャリア教育プログラムを提供する「Blueberry」では、コロナ禍を契機に、さまざまなプロフェッショナルと子供たちをオンラインでつなげ、仕事をテーマに交流する取り組みを始めた。この日は、東京都渋谷区立鑑川小学校（小林繁校長、児童342人）の6年生が取り組んでいる「ドリカムプロジェクト」の一環で、さまざまな職業人が子供たちの質問に答える授業が企画されていた。

授業が始まる直前、画面が映し出されると、子供たちはモニター越しに現れた憧れの存在に早くも興味津々。お互いに手を振り合い、互いがリラックスできたところで授業開始のチャイムが鳴った。

まずは大人から簡単な自己紹介。子供たちに親しみを持ってもらおうと、大人は全員、ニックネームで呼び合った。それが済むと、「待ってました」とばかりに子供たちが代わる代わるマイクの前に座り、矢継ぎ早に質問を投げ掛ける。「どうして医者になろうと思ったのですか?」「アナウンサーの仕事のやりがいは何?」「サッカーをやっていて、普段の生活で困ることは?」などの質問に、職業人は一つ一つ丁寧に答えていく。

元Jリーガーの「タツロウさん」は世界各国でプレーした経験に魅れ、「大人になってからたくさんの友達が多かった。チームが変わると新しい監督やチームメイトとコミュニケーションを



社会人の話を熱心に聞く児童ら (Blueberry提供)

する必要があるし、国が進めば文化や言葉も違う」と、サッカーを通じてさまざまな出会いや学びがあることを伝えた。

また、元アナウンサーの「ちとさん」は、子供の頃は話すのが苦手だったことを打ち明け、「伝える前に、キーワードを箇条書きにして練習するといよいよ。話すことの内容をしっかりと理解していないと、どうしても棒読みになって、視聴者に伝わらない」などとアドバイスしていた。

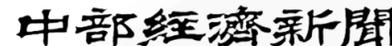
子供たちはそうしたメッセージを熱心にメモしながら、時に追加質問をするなどして、濃密な時間を過ごした。「ドリカムプロジェクト」では、この職業インタビューを導入として、世の中にどんな職業があるのかを調べて発表する活動を展開する予定だという。

授業後、今回初めてプログラムに参加した愛知県の医師「みさこさん」は「医者の仕事は分りにくいので、どうやったら伝わるかを意識した。子供たちの質問に答えるうちに、医者として初心に戻れた気がする」と振り返っていた。

Blueberryの代表を務める柴田淳太郎さんは「子供たちの憧れの職業に就いている人が、近隣にいないとは限らない。しかし、オンラインならば遠隔地でもつながることができるし、大人にとっても子供たちの教育に関わることは、やりがいにつながるはずだ。今後は、さらにいろんな職業の人を巻き込んでいきたい」と意気込む。

6年1組担任の中山開教諭は「憧れの職業に就いている人にインタビューできるとあって、子供たちも事前にインターネットや本で調べ、質問する内容を熱心に練っていた。学校だけの力では、ここまで幅広い職業の人を呼ぶのは難しい」と、外部との連携のメリットを強調する。

その他掲載例



応募テーマの整理

課題

- 小・中学生が福祉の仕事に触れる機会が減少している
- 次世代介護機器等の導入など、福祉施設における職場環境改善の取組が着実に進んできているが、社会的にはあまり知られていない

解決策

- 未来の東京を支える小・中学生に、次世代の人材確保や福祉の仕事における社会的評価向上に繋がるアイデア・サービスが必要



解決策の実行にはキャリア教育の考え方に基づいた段階的なアプローチが必要



キャリア教育における段階的なアプローチとは

キャリア教育では職業選択までに段階的なキャリア観の育成が必要と言われている

○職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み(例) 職業的(進路)発達にかかわる諸能力の育成の視点から 国立教育政策研究所生徒指導研究センター

職業的(進路)発達段階	小 学 校		中 学 校	高 等 学 校
	低 学 年	高 学 年	高 学 年	高 学 年
職業的(進路)発達段階(小～高等学校段階) 各発達段階において達成しておくべき課題を、進路・職業の選択能力及び将来の職業人として必要な資質の形成という側面から捉えたもの。	進路の探索・選択にかかわる基礎形成の時期	進路の探索と暫定的選択の時期	現実的探索と暫定的選択の時期	現実的探索・試行と社会的移行準備の時期
職業的(進路)発達にかかわる諸能力	職業的(進路)発達を促すために育成することが期待される具体的な能力・態度			
人間関係形成能力	【自他の理解能力】 自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動していく能力 【コミュニケーション能力】 多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力	・自分の好きなことや嫌いなことをはっきり言う。 ・お世話になった人などに感謝し親切にする。 ・自分の生活を支えている人に感謝する。 ・自分の意見や気持ちをわかりやすく表現する。 ・「ありがとう」や「ごめんなさい」を言う。 ・自分の考えをみんなの前で話す。	・自分のよいところを見つけ、自分らしさを発揮する。 ・話し合いなどに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しよとする。 ・自分の生活を支えている人に感謝する。 ・思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考え行動しようとする。 ・異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする。 ・身近な人間関係に適切に関わり合う。	・自分の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。 ・他者の価値観や個性のユニークさを理解し、それを受け入れる。 ・互いに支え合い合い合える友人を得る。 ・自分の思いや意見を適切に伝え、他者の意思等を的確に理解する。 ・異年齢の人や異性者、多様な他者と、場に応じた適切なコミュニケーションを図る。 ・リーダー・フォロワーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事をすすめる。 ・人間関係に適切に関わり合う。
情報活用能力	【情報収集・探索能力】 進路や職業に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を適切に活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力 【職業理解能力】 様々な体験等を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならないことを理解していく能力	・身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心をもつ。 ・進路や職業に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を適切に活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力	・身近な産業・職業の様子やその変化が分かる。 ・自分が必要な情報を探す。 ・気づいたこと、分かったことや人・グループでまとめたことを発表する。 ・施設・職場見学等を通じ、働くことの大切さや苦労が分かる。 ・学んだり体験したりしたことを、生活や職業との関連を考えた発表、発信する。	・卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報を集め検討する。 ・就職後の学習の機会や上級学校卒業時の就職等に関する情報を探検する。 ・職業生活における権利・義務や責任及び職業に就く手続き・方法などが分かる。 ・調べたことなどを自分の考えと交え、各種メディアを通して発表・発信する。 ・職業等の社会参加や上級学校での学習等に関する探検的・試行的な体験に取り組む。 ・社会規範やマナー等の必要性や意義を体験を通して理解し、習得する。 ・多様な職業観・勤労観を理解し、職業・勤労に対する理解・認識を深める。
将来設計能力	【役割把握・認識能力】 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力 【計画実行能力】 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等を実行していく能力	・家の手伝いや割り当てられた仕事・役割の必要性が分かる。 ・互いの役割や役割分担の必要性があることやその大切さが分かる。 ・日常生活や学習と将来の生き方との関係に気付く。	・社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。 ・日常生活や学習と将来の生き方との関係に気付く。 ・社会生活における役割の関連性や変化に気付く。	・学校・社会において自己の果たすべき役割を自覚し、積極的に役割を果たす。 ・ライフステージに応じた個人的・社会的役割や責任を理解する。 ・将来設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解する。
意思決定能力	【選択能力】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力 【課題解決能力】 意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適切に対応するとともに、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力	・自分の好きなもの、大切なものやよいことと悪いこととがあることが分かる。 ・学校でしてよいことと悪いこととがあることが分かる。	・自分のやりたこと、よいことと悪いことを考え、進んで取り組む。 ・してはいけないことが分かり、自制する。 ・自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする。 ・自分の力で課題を解決しようとする。	・自分の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。 ・選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する。 ・選択や保護者に自分の悩みや葛藤を保護者に相談しながら、当面の進路を選択し、その結果を受け入れる。 ・学習や進路選択の過程を振り返り、次の選択局面に生かす。 ・よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して自ら課題を見出していくことの大切さを理解する。 ・課題に積極的に取り組み、主体的に解決していくこととする。



次ページにて要約

段階的なキャリア観の育成が必要

小中学校

高校・大学・専門学校

興味関心の芽生え

情報収集と学びの深化

志望の明確化

福祉業界を知る&
良いイメージを持つ

福祉業界を深く知り、
自分のキャリア観に紐付ける

どうすれば福祉業界に就職
できるか考える

業界からのシームレスなサポートが必要
(=単発的なプログラムは効果が低い)

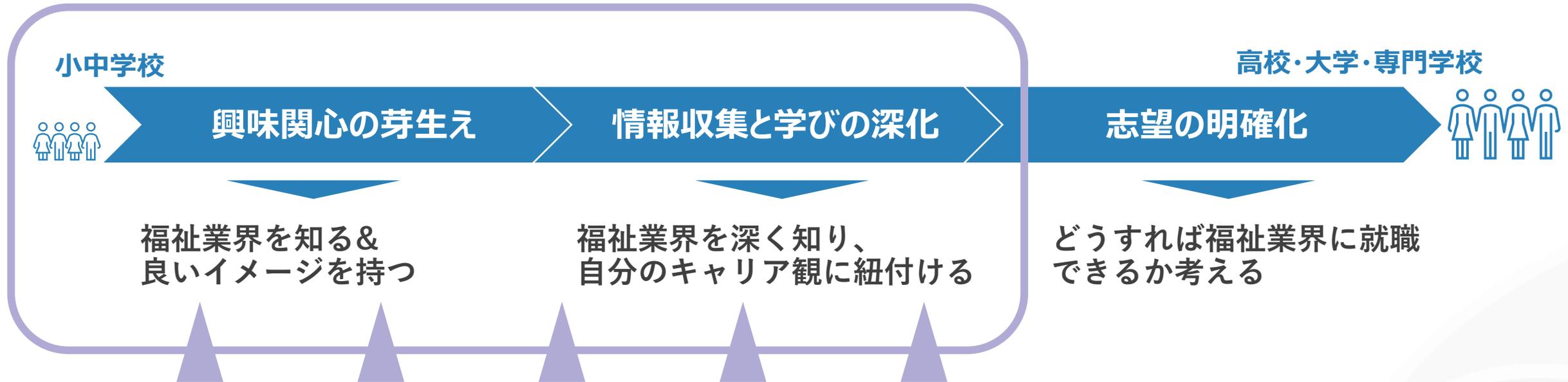
出典)
スーパーのキャリア発達理論 (Donald Super)
Super, D. E. (1990). "A life-span, life-space approach to career development."

ホルランドの職業選択理論 (John Holland)
Holland, J. L. (1997). "Making Vocational Choices: A Theory of Vocational Personalities and Work Environments"



Blueberryプログラムによる段階的なアプローチ

キャリア観の育成には小中学校から高校・大学までシームレスなアプローチが必要であり、
本事業では小中学生に対してBlueberryのプログラムがサポート



Blueberryによるご提案

デジタルを活用し、
キャリア教育に基づく
段階的かつシームレスで
カスタマイズ可能な
小中学校向けプログラム



Blueberryによる小中学生へのアプローチ

興味関心の芽生え

情報収集と学びの深化

志望の明確化

福祉業界を知る&
良いイメージを持つ

福祉業界を深く知り、
自分の相性を考える

対象

幅広い層
(学校でのプログラム等)

福祉業界に興味を持った層
(学校外での希望者へのプログラム)

目的

業界の認知度・好感度向上

業界理解・興味の深化

具体的な
プログラム
(例)

- VR体験
- 業界人とのふれあいイベント

- ヤングインターン
- アイデアソン
- 施設訪問イベント



Blueberryが提供できるシームレスなプログラム

興味関心の芽生え
情報収集と学びの深化

プログラム名 (案)	対象	目的	内容	弊社の過去の関連実績
VR体験	小中学校	福祉業界を知るきっかけとする	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設の部屋の紹介 ・介護施設の食事の様子 ・介護ロボットの様子 	VR事業者との コラボレーション実施中
ふれあいイベント (オンラインイベント)	小中学校	福祉業界の職業を知る 社会貢献の意識形成	オンラインで実際に働いている人から社会貢献について学ぶ	小中学校向けに実施中
プレゼンコンテスト	小中学校	テーマごとにグループで調べて発表することで、福祉業界の職業を知るとともに、未来の福祉業界に好印象を持ってもらう	テーマ案 <ul style="list-style-type: none"> ・未来の介護ロボットを考えよう ・楽しく過ごせる施設のアイデアコンテスト ・ありがとうが生まれる仕事紹介 →SNSで名前を伏せて発信	小中学校向けに実施中 ・ワークシート提供 ・教員へのフォロー等
オンデマンド動画 (GIGAプログラム)	小中学校	福祉業界の職業を知る	オンデマンドで一人一人ひとりの興味に合わせて多様な社会人講師の動画を視聴可能なプログラム	小中学校向けに実施中
福祉施設訪問イベント	希望者	福祉業界のスタッフ体験 介護ロボット操作体験	都内の福祉施設とコラボレーション 参加希望者をSNSで募集→実際の福祉施設で体験	小中学校向けに実施中
ヤングインターン	希望者	福祉業界での働くイメージを持つ	福祉施設へ短期でインターンを行う	同志社大学ゼミでの インターン
保護者向け福祉業界セミナー	希望者	保護者への福祉業界のイメージ向上	保護者向けにオンラインで福祉業界についてのセミナーを行う	キャリア教育教員向け セミナー等を開催
理想の福祉施設 アイデアソン	希望者	実際に福祉業界で働くことを想像してもらう	参加希望者をSNSで募集→大会参加→プロトタイプ作り ワークショップ→優勝者は施設とコラボして実際の現場に反映	同志社大学ゼミでアイデアソンを実施
福祉業界のキャリア形成相談会	希望者	福祉業界のキャリアについて知りたい子どもたちに対して具体的なアドバイスを行う	介護福祉士→ケアマネジャー→施設管理職などのキャリア形成について相談できる	有料職業紹介事業の担当者がフォロー



SNS・
オウンドメディア
小中学生だけでなく、保護者や大人たちの福祉業界のイメージ向上を目的に、SNS等で本プログラムの実施の様子を発信



Blueberryが提供できるシームレスなプログラム

興味関心の芽生え
情報収集と学びの深化

プログラム名 (案)	対象	目的	内容	弊社の過去の関連実績
VR体験	小中学校	福祉業界を知るきっかけとする	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設の部屋の紹介 ・介護施設の食事の様子 ・介護ロボットの様子 	VR事業者との コラボレーション実施中
ふれあいイベント (オンラインイベント)	小中学校	福祉業界の職業を知る 社会貢献の意識形成	オンラインで実際に働いている人から社会貢献について学ぶ	小中学校向けに実施中
プレゼンコンテスト	小中学校	テーマごとにグループで調べて発表することで、福祉業界の職業を知るとともに、未来の福祉業界に好印象を持ってもらう	テーマ案 <ul style="list-style-type: none"> ・未来の介護ロボットを考えよう ・楽しく過ごせる施設のアイデアコンテスト ・ありがとうが生まれる仕事紹介 →SNSで名前を伏せて発信	小中学校向けに実施中 ・ワークシート提供 ・教員へのフォロー等
オンデマンド動画 (GIGAプログラム)	小中学校	福祉業界の職業を知る	オンデマンドで一人一人ひとりの興味に合わせて多様な社会人講師の動画を視聴可能なプログラム	小中学校向けに実施中
福祉施設訪問イベント	希望者	福祉業界のスタッフ体験 介護ロボット操作体験	都内の福祉施設とコラボレーション 参加希望者をSNSで募集→実際の福祉施設で体験	小中学校向けに実施中
ヤングインターン	希望者	福祉業界での働くイメージを持つ	福祉施設へ短期でインターンを行う	同志社大学ゼミでの インターン
保護者向け福祉業界セミナー	希望者	保護者への福祉業界のイメージ向上	保護者向けにオンラインで福祉業界についてのセミナーを行う	キャリア教育教員向け セミナー等を開催
理想の福祉施設 アイデアソン	希望者	実際に福祉業界で働くことを想像してもらう	参加希望者をSNSで募集→大会参加→プロトタイプ作り ワークショップ→優勝者は施設とコラボして実際の現場に反映	同志社大学ゼミでアイデアソンを実施
福祉業界のキャリア形成相談会	希望者	福祉業界のキャリアについて知りたい子どもたちに対して具体的なアドバイスを行う	介護福祉士→ケアマネジャー→施設管理職などのキャリア形成について相談できる	有料職業紹介事業の担当者がフォロー



SNS・
オウンドメディア
小中学生だけでなく、保護者や大人たちの福祉業界のイメージ向上を目的に、SNS等で本プログラムの実施の様子を発信



各プログラムの実施案

VR職場体験

VR技術を用いて、福祉施設の様子や介護ロボットを学校の授業内で体験できるプログラム
(弊社スタッフが学校へ訪問し実施をサポート)

VRで見ることのできる映像例



最新ストレッチャー浴設備



最新歯科治療設備



施設内の様子



最新入浴設備

(プログラム制作協力：エッジニア合同会社・YUKAIGO株式会社様)

ふれあいイベント（オンラインイベント）

福祉施設で働いている方の話を、学校の授業内でリアルタイムで聞いたり、質疑応答を行うプログラム



小中学校の授業にて実際にオンラインイベントを実施している様子



各プログラムの実施案

オンデマンド動画教材（GIGAプログラム）

オンデマンドで一人一人ひとりの興味に合わせて
多様な社会人講師の動画を視聴可能なプログラム



社会人講師例

- 介護福祉士**：
高齢者の日常生活を支援し、食事や入浴、排泄介助などを行う専門職。
- ケアマネジャー（介護支援専門員）**
高齢者やその家族の相談に応じ、介護サービスの計画（ケアプラン）を立案。
- 訪問介護員（ホームヘルパー）**
高齢者の自宅を訪問し、掃除、料理、買い物などの日常生活をサポート。
- 看護師（介護施設勤務）**
介護施設で高齢者の健康管理や医療ケアを担当。
- 理学療法士（PT）**
高齢者の身体機能を改善・維持するためのリハビリテーションを行う。
- 作業療法士（OT）**
高齢者が日常生活を送るための機能回復訓練を提供。
- 社会福祉士**
高齢者の生活や権利を守るため、介護や生活の問題解決を支援。

実際に学校で
利用している様子



理想の福祉施設アイデアソン

小中学生がチームになり、自分たちの理想の
福祉施設を考えるイベント

1. 「みんなが幸せに暮らせるように支えること」をコンセプトにグループでプレゼンを実施
 2. 福祉施設勤務の方々のパネルディスカッション等も実施
 3. 実際に福祉施設で勤務する方々からアイデアについてアドバイスを受ける時間も用意
- 優勝者は施設とコラボして実際の現場に反映することも想定



学研との協業で、小学生向けの「夢発見プログラム」実施の実績（詳細p.25）

Go Dream オンライン型探究学習！
夢発見プログラム
夢発見プログラムを受講すると
人生が動き出す！
そんな瞬間を体感しませんか？
対象 小学生 期間 7月～9月

Gakken **Blueberry**

INPUT

プロ直伝の特別授業

新しい世界・価値観に出会う授業です。
6職種のお仕事のプロから仕事内容やその道に進んだきっかけ、その世界での最先端について学び、未来について考えます。
オンライン(Zoomウェビナー)でご参加いただけます。

OUTPUT

プレゼンテーション講座

自分自身の意見を持ち、聞き手を納得させる伝え方を習得します。
全6回の中で、何を(What)どうやって(How)伝えるのかというコミュニケーションスキルを身につけ、考えたことを整理して自分らしく伝える力を養います。
特別授業に参加後にお送りする動画を視聴して、プレゼンテーションスキルを学んでいただきます。

+

※株式会社学研工教育デューショナル

各プログラムの実施案

保護者向け福祉業界セミナー

保護者への福祉業界のイメージ向上を図るセミナー

セミナーの目的と内容（案）

目的	内容
福祉業界のポジティブなイメージの醸成	<ul style="list-style-type: none"> 現役福祉職員が語る「福祉の仕事の魅力」事例紹介や成功体験を交えた講演会 「福祉=大変」という固定観念を打破し、現代の福祉の多様性や可能性を紹介
福祉業界に対する保護者の疑問解消	<ul style="list-style-type: none"> 福祉職員やキャリアの専門家が保護者の質問に回答する質疑応答セッション
子どものキャリア選択に福祉を加える意識改革	<ul style="list-style-type: none"> 子どものキャリア選択に役立つ「福祉業界の未来と可能性」について福祉業界の専門家やキャリアカウンセラーを招いてパネルディスカッション 子どもが将来福祉の仕事に興味を持つきっかけを保護者と共有

参加者の募集方法（案）

1. Instagram、Facebook、X（旧Twitter）を活用（保護者層に人気のハッシュタグ（例：#子育て #キャリア教育 #福祉の未来）を利用）
2. 地域の教育委員会やPTAと協力してイベント情報を広報

オンライン・オフラインともに保護者向けセミナーの多数の実施実績あり

- 2024/5/28「子どもたちが夢を叶えるために必要なこととは」
- 2024/6/18「なぜ勉強をするのか、夢を見つける方法」
- 2024/8/11「現代の小中学生の将来の職業選択について」 他多数



オンライン保護者セミナーの様子



オフライン保護者セミナーの様子



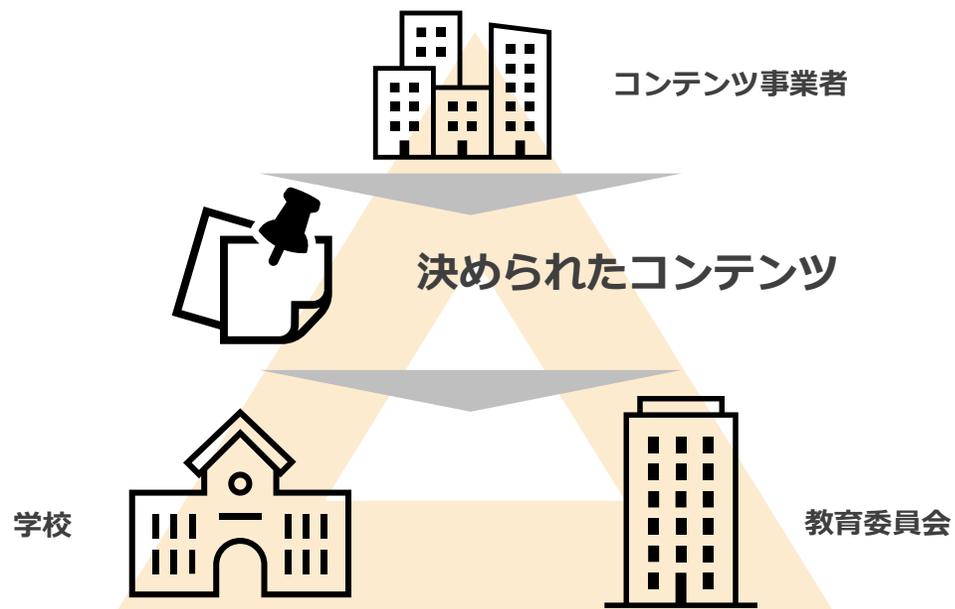
福祉業界の専門家と保護者向けセミナーについてのディスカッションを開始済

有料老人ホームを多数経営する井下宣広様との打ち合わせの様子



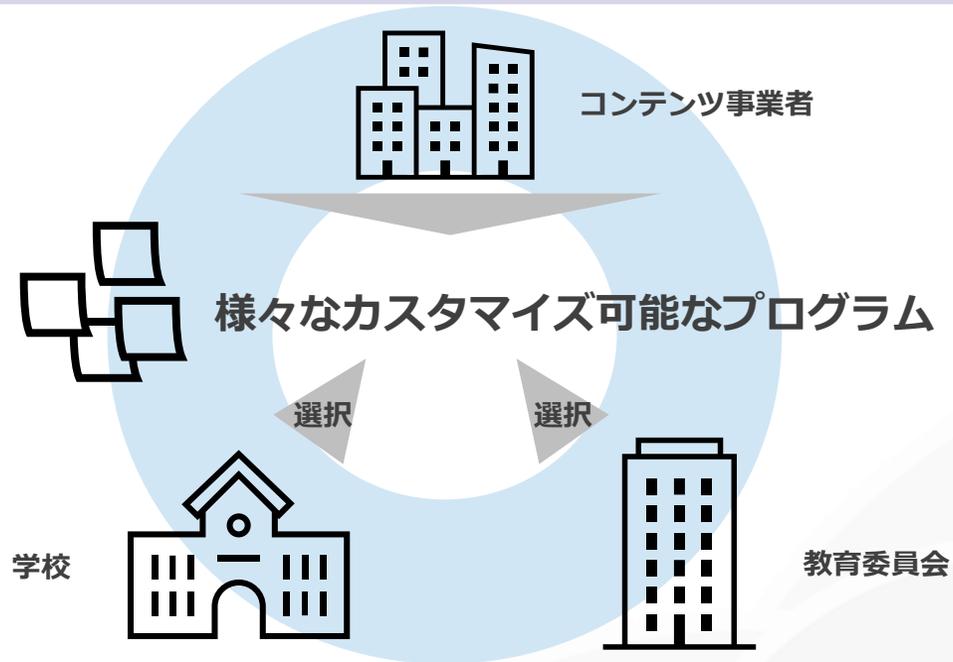
教育現場は方針の違いや予算の違いがあるため、 広く導入するためにはそれぞれの現場のニーズに合わせてることが重要

固定プラン型



学校や教育委員会等の教育現場は、キャリア教育の方針の違いや予算の違いが存在するため、**導入が前向きに進まない**

Blueberry カスタマイズプラン型



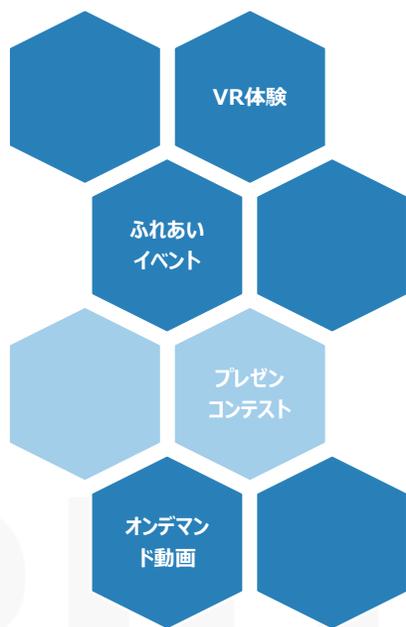
各教育現場の教育方針や予算に応じてプログラムを選択できるため**導入が進みやすい**



Blueberryのプログラムは教育現場ごとにカスタマイズが可能

ある学校での実施プログラム例

学校の授業の授業時間数の都合で、VR体験とふれあいイベントは実施、プレゼンコンテストは見送り



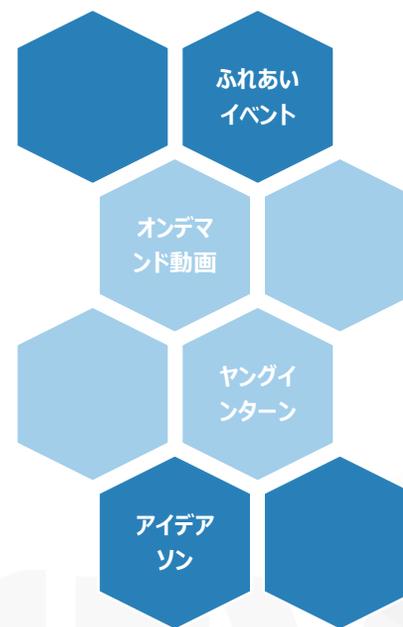
ある中学校の生徒200人の場合・・・

VR体験：生徒1人300円
 オンデマンド動画：生徒1人150円
 ふれあいイベント：1回80,000円

合計：170,000円

ある地域での実施プログラム例

地域で既存のインターンがあるため、ふれあいイベントとアイデアソンのみ実施



ある区で希望者にプログラムを実施する場合・・・

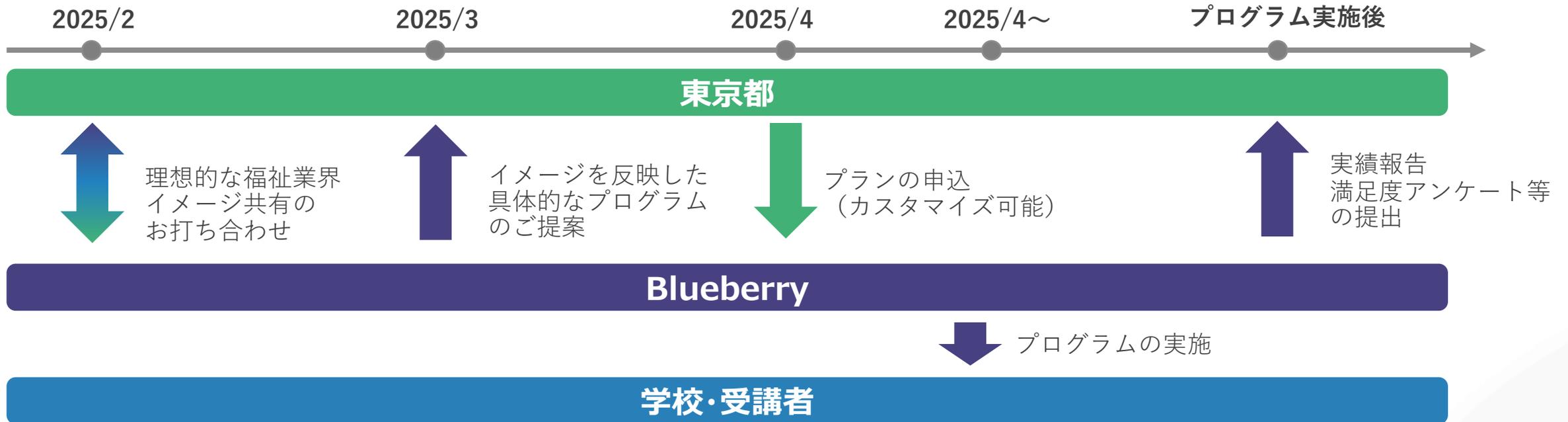
ふれあいイベント：1回80,000円
 アイデアソン：1回300,000円

合計：380,000円

※費用感は東京都様・導入する教育委員会様・学校様・自治体様と調整可能のため、掲載しているものは一例



東京都様との役割分担とスケジュール



東京都様のメディアなどを通じて広く発信いただいた後に、教育委員会や学校へ個別にアプローチすることで効果的に多くの子どもたちへプログラムを届けることが可能になると考えています。

費用と規模感

とにかくたくさんのお子どもたちに

オンデマンド動画
(GIGAプログラム)

100円/生徒1名

例) 東京都全域の場合

小学校1学年 約10万人
中学校1学年 約7.5万人
→1750万円

東京都様と調整

アイデアソン
+
保護者セミナー

35万円/1回あたり

例) 10回開催の場合

アイデアソン 約300万円
保護者セミナー 約50万円
→350万円

興味の強い子どもたちに絞って

東京都様の意向/予算に応じて、調整可能



Blueberryのプログラムのポイントまとめ

1

キャリア教育の考え方にに基づき、
育成段階ごとに適したプログラムであるため
効果が高い



2

方針や予算の違いがある
教育現場のニーズに合わせて
カスタマイズ可能

教育現場は方針の違いや予算の違いがあるため、
広く導入するためにはそれぞれの現場のニーズに
合わせる事が重要であり、
Blueberryのプログラムは現場ごとにカスタマイズが可能



3

ICTキャリア教育の
小中学生に対する豊富な実績

経済産業省キャリア教育アワード
最優秀賞・経済産業大臣賞



日本全国で5万人以上の
小中学生にプログラム提供



キャリア教育に基づく段階的かつシームレスで
カスタマイズ可能な
小中学校向けプログラム

Blueberryにぜひお任せください

キャリア教育

デジタル

シームレス

カスタマイズ可能



Blueberry

Appendix

Blueberry



プログラム概要と費用一覧

興味関心の芽生え
情報収集と学びの深化

プログラム名(案)	対象	目的	内容	弊社の過去の関連実績	費用感(税抜)
VR体験	小中学校	福祉業界を知るきっかけとする	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設の部屋の紹介 ・介護施設の食事の様子 ・介護ロボットの様子 についてVRで体験する	VR事業者との コラボレーション実施中	生徒1人300円 学校/学年単位で実施
ふれあいイベント (オンラインイベント)	小中学校	福祉業界の職業を知る 社会貢献の意識形成	福祉業界の職業人と、仕事内容や社会貢献について オンライン会議ツールを使って リアルタイムでコミュニケーションを取る	小中学校向けに実施中	1回80,000円(講師6名) 学校/学年単位で実施
プレゼンコンテスト	小中学校	テーマごとにグループで調べて発表 することで、福祉業界の職業を知る とともに、未来の福祉業界に好印象 を持ってもらう	下記のテーマ案に沿って調べ考え、プレゼンを行う <ul style="list-style-type: none"> ・未来の介護ロボットを考えよう ・楽しく過ごせる施設のアイデアコンテスト ・ありがとうが生まれる仕事紹介 	小中学校向けに実施中 ・ワークシート提供 ・教員へのフォロー 等	1回50,000円 学校/学年単位で実施
オンデマンド動画 (GIGAプログラム)	小中学校	福祉業界の職業を知る	オンデマンドで一人一人ひとりの興味に合わせて多様な 社会人講師の動画を視聴可能なプログラム	小中学校向けに実施中	生徒1人100円~500円 市区町村/学校/学年単位で 実施
福祉施設訪問イベント	希望者	福祉業界のスタッフ体験 介護ロボット操作体験	都内の福祉施設とコラボレーション 参加希望者をSNSで募集→実際の福祉施設で体験	小中学校向けに実施中	1回100,000円(3時間) 希望者10名想定
ヤングインターン	希望者	福祉業界での働くイメージを持つ	福祉施設へ短期でインターンを行う	同志社大学ゼミでの インターン	1回500,000円(3日程) 希望者10名想定
保護者向け福祉業界セミナー	希望者	保護者への福祉業界のイメージ向上	保護者向けにオンラインで福祉業界についてのセミ ナーを行う	キャリア教育教員向け セミナー等を開催	1回50,000円(1時間) 保護者の希望者100名想定
理想の福祉施設 アイデアソン	希望者	実際に福祉業界で働くことを想像し てもらう	参加希望者をSNSで募集→大会参加→プロトタイプ作 りワークショップ→優勝者は施設とコラボして実際の 現場に反映	同志社大学ゼミでアイデア ソンを実施	1回300,000円(2日程) 希望者30名想定
福祉業界のキャリア形成相談 会	希望者	福祉業界のキャリアについて知りたい 子どもたちに対して具体的なアド バイスを行う	介護福祉士→ケアマネジャー→施設管理職などのキャ リア形成について相談できる	有料職業紹介事業の担当者 がフォロー	1回300,000円(2日程) 希望者100名想定

学研との協業で小学生向けの「夢発見プログラム」を実施し、 ノウハウをアイデアソンへ活用予定

Gakken

Go Dream オンライン型探究学習!
夢発見プログラム

夢発見プログラムを受講すると
人生が動き出す!
そんな瞬間を体感しませんか?

対象 小学生 期間 7月～9月

≡ どんなことをするの? ≡

本プログラムでは「夢を見つける力」と「夢を実現する力」の双方を身につけます。広い世界を知り、その世界のプロフェッショナルたちから仕事について学び、次の時代で活躍するための思考・表現力を養います。

INPUT

プロ直伝の特別授業

新しい世界・価値観に出会う授業です。
6職種のお仕事のプロから仕事内容やその道に進んだきっかけ、その世界での最先端について学び、未来について考えます。
オンライン(Zoomウェビナー)でご参加いただけます。

+

OUTPUT

プレゼンテーション講座

自分自身の意見を持ち、聞き手を納得させる伝え方を習得します。
全6回の中で、何を(What)どうやって(How)伝えるのかというコミュニケーションスキルを身につけ、考えたことを整理して自分らしく伝える力を養います。
特別授業に参加後にお送りする動画を視聴して、プレゼンテーションスキルを学んでいただけます。

Go Dream オンライン型探究学習 夢発見プログラムとは

「夢発見プログラム」は変わりゆく社会の中で、子どもたち一人一人がそれぞれの夢を持ち、それを叶えるために**必要な力**を養うためのプログラムです。

夢や希望、好奇心はすべての原動力であり、**学びのエネルギー**となります。

覚えれば良い、正解のある問題を解ければ良い、というものだけではなく、これからの時代に本当に活躍できる子どもたちを育てるために開発したのが「**夢発見プログラム**」です。

ー ホランド理論に基づいたキャリアプログラム ー

プロ直伝の特別授業では、人の職業に対する興味である以下の6つの領域に基づき、それぞれの領域の第一線で活躍する6名の講師による授業が受講できます。
「今まで知らなかったけど、こんなに面白いお仕事があったんだ!」「興味のないお仕事だったけど、聞いてみたらもっと知りたくなった!」など、新しい扉を開くことで、おさまの世界が広がっていきます。



★ホランド理論とは
ジョン・L・ホランドが提唱した、パーソナリティ（個人の職業興味）と環境（職場の環境）のタイプを6つに分類し、個人と職場のマッチングをはかる六角形モデルのことを指します。

<p>第1回 7/6(土) 19:00～19:45</p> <p>宇宙研究者 人工衛星エンジンに関する研究についてお話しいただきます。</p> <p>プレゼンテーション講座 プレゼンテーションスキルを学び、1枚のスライド作成からご参加いただけます。</p>	<p>第2回 7/22(土) 19:00～19:45</p> <p>外資系企業の経営コンサルタント 職務を定めて仕事についてお話しいただきます。</p> <p>プレゼンテーション講座 自分の考えを伝えることと学び、グループでの発表を行います。</p>
<p>第3回 8/5(土) 19:00～19:45</p> <p>有名企業サイトのWEBデザインを担当 WEBサービスサイトのデザインとは何かをお話しいただきます。</p> <p>プレゼンテーション講座 シナリオをつくり、一冊のプレゼンで伝える方法を学びます。</p>	<p>第4回 8/19(土) 19:00～19:45</p> <p>自動車メーカーのエンジニア 自動車開発の最先端技術についてお話しいただきます。</p> <p>プレゼンテーション講座 話し方について学び、みんなの力で課題解決について学びます。</p>

FAQ

質問	回答
各プログラムでBlueberryはどこまで担当するか？	小中学校対象のプログラムでは、プログラム中はBlueberryスタッフが対応するため、教師の事前準備等の時間は原則不要ですが、教師の希望をヒアリングする時間は必要と考えています。 希望者対象のプログラムでは、プログラム募集・準備・実施中はBlueberryスタッフが対応するため、東京都様の負担はありません。
東京都に求めるものは？	教育委員会/学校への弊社プログラムの紹介、既存の媒体/SNS等を使ってのプログラム参加者の募集をお願いしたいと思います。 (民間企業と比較して公的機関の媒体からの募集のほうが受け手の信頼度が高いため)
費用感はどの程度固定されているか？	現状提示させていただいているものはあくまで一例であり、内容・実施回数等にもよるため、相談可能です。
学校現場に導入するためにどのようにアプローチすべきか？	教育委員会・学校・自治体単位で独自の考え方・方針が存在するため、一律導入ではなくカスタマイズできるプログラムが教育現場への効果的なアプローチとなると考えています。プログラムを押し付ける形ではなく、各教育現場が必要だと考えるプログラムを取捨選択して提供するべきと考えております。
カスタマイズ可能な場合はシームレスなキャリア教育ができないのではないかと？	既存のキャリア教育と重複させない目的でカスタマイズできるプログラムが必要と考えているため、既存のキャリア教育と弊社のキャリア教育を合わせたうえでシームレスなキャリア教育が可能と考えております。
理想的な福祉業界イメージ共有のお打ち合わせとは？	本事業でのゴールを明確化（福祉業界に対する小中学生のイメージ等）し、予算に応じてターゲット・アプローチを効果的に定めるための打ち合わせを想定しております。
本事業をどのように進めるべきか？	初年度は市区町村をいくつか絞って導入・効果検証を行い、フィードバックを踏まえてプログラムを改良したのち、多くの市区町村に展開するという進め方が良いと考えております。



株式会社Blueberry

～ 企業理念 ～

VISION

「自ら考える力」と「自ら実行する力」を持った個々を確立し、日本の将来を担う子どもたちの手助けを行うこと

MISSION

*教育システム外の第四者としての立場から、新たな教育を実現するパイオニアになること

*教育システム・・・子ども、保護者、先生

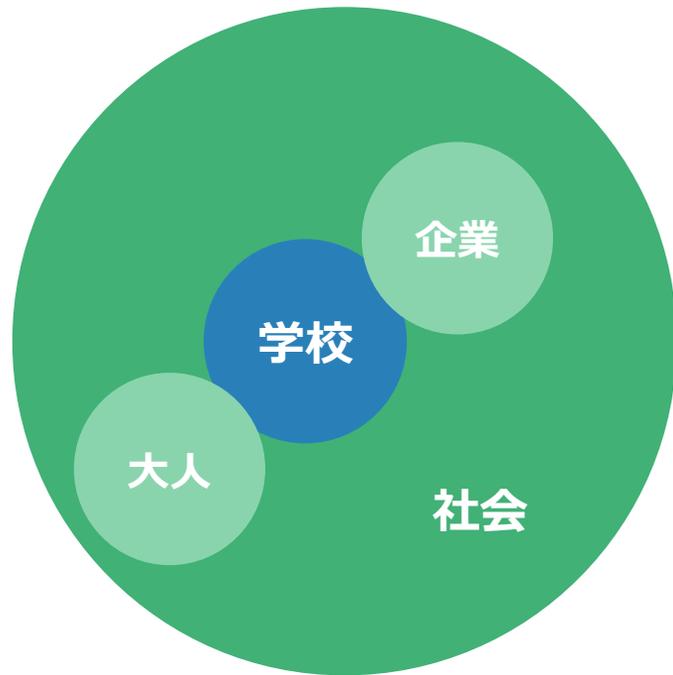
VALUE

今まさに新たな社会を創っている立場から、教育への恩返しを行うこと

ブルーベリーの花言葉 「知性」 「信頼」 「実りある人生」



目指していく世界 [Blueberryのビジョン]



企業や大人たちが積極的に教育に参画し、
社会の変化に応じた多様な個人の育成を実現していく

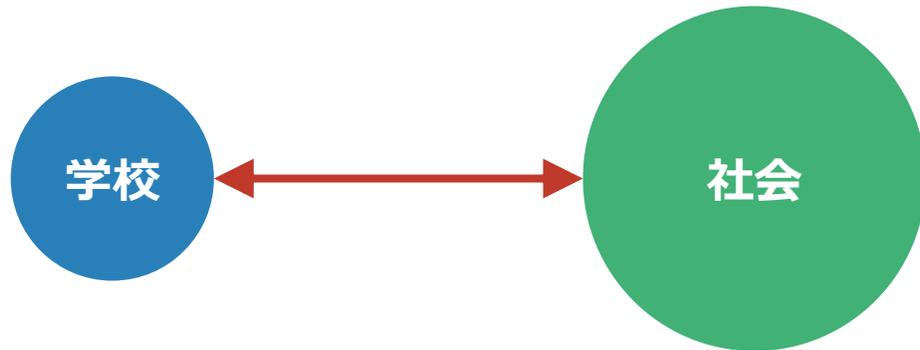


「自ら考える力」と「自ら実行する力」を持った個々を確立し、日本の将来を担う人材育成につながる



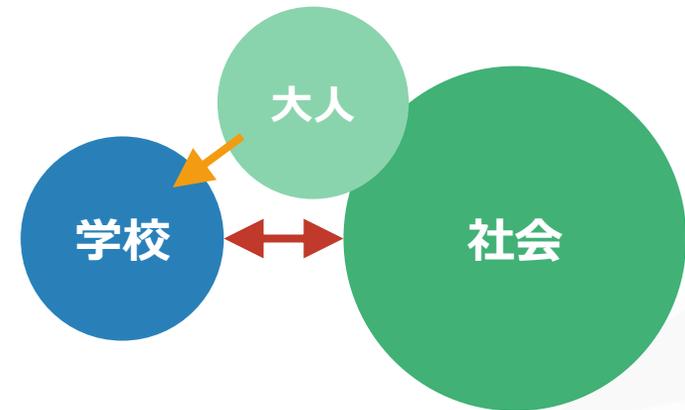
近い将来に実現すべきこと [教育への恩返し]

As is



子どもたちの学びは社会と離れている

To be



大人たちがリアルを伝えることで距離が縮まる



教育の恩恵を受けて育った大人たちが、自分達の経験を教育現場へ伝えていくことは“教育への恩返し”となり、子どもたちの学びがより有意義なものになる



Blueberryの歩み

2020年 4月 代表 柴田が岐阜県の学習塾でパイロットの仕事について講義を開始

2021年 7月 副代表の服部と共に全国30校の学習塾でプログラムを実施 約1000名が受講

2020年 9月 渋谷区の小学校でオンラインキャリア教育の授業を行う

2021年 1月 岐阜県多治見市主催のビジネスプランコンテストでグランプリ獲得し、株式会社Blueberryを設立

2021年 4月 岐阜県多治見市教育委員会とキャリア教育実証授業を開始 他の自治体でも導入が進む

2021年12月 経済産業省キャリア教育アワードにて最優秀賞・経済産業大臣賞を受賞

2022年 4月 経済産業省EdTech補助金対象事業の認定を受ける

2022年 5月 同志社大学にて産学連携キャリア教育プログラムの提供を開始

2023年 8月 名古屋グランパスと協働での取り組みがキッズデザインアワードを受賞



Blueberryのキャリア教育が大切にする3つの要素



視野を広げる

- 知っている世界からしか選択はできない
- 個人の興味に合わせて幅広く世界を見る必要がある

多様な価値観を養う

- 選択/決断をするための判断材料は何か？
- 自分自身でキャリアを切り拓くために必要な価値観を養う

能力を伸ばす

- 目標へ向かって何をすべきか？
- 具体的なキャリアを歩むために必要な力や選択する力を身につける



教育現場の課題解決に貢献し、子どもたちの未来をつくる

教育現場における課題

- 学校現場においてキャリア教育に活用できる**良質なリソースが少ない**
- **先生の負担**を減らしつつ、子どもたちが自らの将来を考える教育を充実させなければならない
- 「社会に開かれた教育課程の実現」は国の方針として打ち出されており、**学校外部からの教育参画を促進**したい

Blueberryの役割

- 未来ある子どもたちの教育を**キャリア形成**の観点から充実化させる = 子どもたちの可能性を広げる
- 学校現場で活用できる**質の高いキャリア教育リソース**を提供する
- 社会が教育に参画することで、社会全体で子どもたちを育て、未来の社会の担い手を育成する**“持続可能”な教育システム**を構築する

